

## 図書館管理・運営責任者会議発足の経緯及び趣旨について

2002年7月24日

金城学院大学図書館

鈴木卓美

### 発足の経緯

2000年12月開催の2000年度第2回常任幹事会で、出席者の中から私立大学図書館協会東地区部会で開催されているような活動（館長・事務長会議）を東海地区でも実施できないかとの提案がなされました。しかし、当時の理事校は、2年任期の2年目に当たっており、検討するとすれば、次年度東海地区協議会理事校を受けることになっていた金城学院大学が担当するのが順当なところでした。ところが、本学は、本来決まっていた理事校が辞退されたため、やむを得ず引き受けた理事校であるので、この提案を検討することをできないとお断りいたしました。検討の結果、次年度私立大学図書館協会会長校に決まっていた中京大学が中心になってとりまとめていくことでした承され、その場は終了しました。

しかし、ご存じのように私立大学図書館協会会長校は激務であり、私立大学図書館協会の西地区部会の中の1地区協議会のために活動することは不可能であり、本件はそのまま検討されませんでした。

本学も、理事校に就任する前は、どのような業務を担当するのか不明であったことと、当時の責任者の定年が間近であり引き受けかねるような状態でした。しかし、このまま次期理事校に送ることも無責任なことなので検討に着手いたしました。

そして、2002年3月開催の2001年度第3回常任幹事会において、愛知大学野口氏より「東海地区加盟図書館事務長（課長）諸氏への呼びかけ」ということで提案をしていただきました。その結果、図書館の管理運営に携わる方々の会を設立する趣旨をご理解頂き、2002年度第1回の常任幹事会で具体的な提案をすることが了承されました。

以上の経過を経て、2002年5月開催の2002年度第1回常任幹事会に、当初の設立の趣旨とは若干変更されましたが「図書館管理・運営責任者懇談会（仮称）」を理事校として提案させていただきました。検討の結果、運営の主体として予定していた運営準備委員会の削除と、参加資格の「館長以外の」の表現を削除すること、参加資格者の表現を再考するよう求められました。

2002年5月開催の総会に、指摘された部分を訂正した案を上程。審議の結果、会議名称を再考することでした承されました。

以上が、本会議発足の経過で、本日ご出席の皆様には、このような経過を経てこの会議が発足したことをご理解頂きたいと思っております。

### 本会議発足の要因

- 1) 図書館職員の人事異動により、サービスの低下、及び日常業務に支障をきたしてきた

こと

- 2) インターネットの普及により、電子ジャーナルの購入等多くの図書館と協力・共同(コンソーシアム)運営していかなければならない状況になってきたこと
- 3) 開館時間の延長、休日開館、地域への開放(一般開放)等サービスの拡充が求められているが、職員の増員はなく、勤務体制に苦勞していること
- 4) 現場の図書館員とは異なり、図書館の管理・運営実務責任者の多くは、人事異動により現在の立場となっている方が多くあり、相談相手もなく日々苦勞されていること
- 5) 小さな図書館では、職員一人といった状況もあり、相談する相手もなく日々の運営に苦勞していること

以上、多くの図書館でこういった問題を抱えています。問題ごとに個別の図書館に問い合わせをするなど、多くの労力をかけて問題解決に当たられていると思います。そういった問題を抱える図書館が集まり、一図書館ではなかなか解決できないことを、ともに考え、解決策をさがす場を提供することが、本会発足の要因です。

### 本会の趣旨

図書館の管理・運営の実務責任者が集まり、大学図書館が現在置かれている状況等を情報交換し、問題点の解決策を見つける場を提供すること

(西地区部会で館長・事務長会議が計画されていますが、本会議の趣旨は、それとは重複しないと考えます)

### 本会議で扱うテーマ

- 1) 図書館コンソーシアム
- 2) 業務のアウトソーシング
- 3) 図書館システムのアウトソーシング(ホスティング)
- 4) 職員研修
- 5) 書庫問題(書庫増設、共同書庫)、資料廃棄
- 6) 開館の問題(延長、休日)、一般開放
- 7) 電子図書館、資料のデジタル化及びその提供
- 8) 学内の他部門との統合・合併
- 9) その他